教科シラバス(3年)

<table>
<tr><td rowspan="2">教科名</td><td rowspan="2">英語</td><td rowspan="2">科目名</td><td>コミュニケーション英語Ⅲ</td><td rowspan="2">学年</td><td rowspan="2">3年(理系習熟)</td><td rowspan="2">単位数</td><td>3</td></tr>
<tr><td>英語表現Ⅱ</td><td>2</td></tr>
<tr><td colspan="3">教科書と副教材</td><td colspan="5">BIG DIPPER English Communication Ⅲ、BIG DIPPER English Expression Ⅱ
BIG DIPPER English Communication Ⅲ ベーシックノート、Hyper Listening Plus Elementary、Treasure Hunt 4, 5、シュミレーター80,40,30</td></tr>
<tr><td>1. 科目目標</td><td colspan="7">(コミュニケーション英語Ⅲ)
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばし、社会生活において活用できるようにする。
(英語表現Ⅱ)
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。</td></tr>
<tr><td>2. 学習方法</td><td colspan="7">(1) 授業の持ち物について:教科書、問題集、ノート(科目毎に替えてください)、辞書、参考書や単語帳は主に家庭学習用ですが、授業で扱うこともあります。
(2) 予習の仕方について:前もって次回の授業で学ぶ箇所を読み、意味の分からない単語や表現を調べておきましょう。自力で解答できる個所については、あらかじめ解いておきましょう。
(3) 授業の受け方について ＜授業では、授業内容を「正しく理解する」ことを心がけ、わから ないときは、「積極的に質問」しましょう。＞
ア 授業は集中して受け、先生の説明をよく聞きながら、板書をノートやプリントに早く正確に写すことを心がけましょう。
イ 教科書や問題集の練習問題は、自分の力で解くように心がけましょう。また、先生が解答されたら、必ず答え合わせをして、理解できた点とそうでない点を明確にする習慣を身につけましょう。
(4) 家庭学習の仕方について
＜家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。＞
ア 授業で習った箇所をもう一度読み返してみましょう。その際、英単語や重要構文等の確認をし、問題はもう一度正確に解けるかどうか試してみましょう。
イ 宿題(教科書や問題集)は、出された当日に必ず自分の力で解いて、答え合わせをする習慣を身につけましょう。
ウ 宿題(週末課題)は、週明けの最初の授業で提出できるよう計画的に取り組みましょう。分からない箇所は、そのままにしておくのではなく、積極的に辞書を使いましょう。
(5) 質問の仕方について
勉強を進めていく中で、分からないことは早めに担当の先生に質問しましょう。授業時間内や授業後、そして放課後等でも質問することは可能です。</td></tr>
<tr><td>3. 学習評価</td><td colspan="7">学習評価は、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、提出された課題、学習態度等によって行います。特に、課題の提出については、学習評価の必須条件です。 従って期限内に未提出の場合は、当該科目が未認定になることもあります。</td></tr>
<tr><td>4. 学習
サポート</td><td colspan="7">(1) 毎日の授業後、皆さんが授業内容を本当に理解できているかを確認するために宿題が出されます。授業時には理解できているつもりでも、後に解いてみると中々解けないことがあります。1度ではなく、3度4度と繰り返すことが重要です。
(2) 週末課題は、慣れない内は時間がかかり大変に感じますが、自分の実力アップを図る最善の手段です。真摯に取り組めば、必ず時間をかけただけの力が身につきます。
(3) 定期考査、課題考査の内容は、教科書、問題集、補足プリントの中から出題されますので、中学校時代に英語が苦手教科であったとしても確実に高得点を取ることができます。</td></tr>
</table>